

港区立筈小学校

令和 7 年度 道徳授業地区公開講座

令和 7 年 6 月 2 8 日(土)

8 : 4 0 ~ 9 : 2 5 1、3、5 年 道徳授業公開

9 : 3 0 ~ 1 0 : 1 5 2、4、6 年 道徳授業公開

1 0 : 3 5 ~ 1 1 : 2 0 講演会(体育館)

講師 大田区教育委員会統括指導主事 中治 謙一 先生

※道徳授業は各教室で担任が行います。

※講演会は、体育館で行います。

道徳授業 一覧

学 年	道徳的な価値	教材名
1 年	親切、思いやり	「はしの 上の おおかみ」
2 年	礼儀	「青い アルバム」
3 年	親切、思いやり	「フローレンス・ナイチンゲール物語」
4 年	親切、思いやり	「心の信号機」
5 年	親切、思いやり	「くずれ落ちただんボール箱」
6 年	親切、思いやり	「最後のおくりもの」

第1学年 道徳科学習指導案

令和7年6月28日(土) 第3校時

第1学年1組 27名

授業者 箱崎 由衣

主題名 しんせつに すると 気持ちがいい
ねらい

内容項目 (思いやり、親切)

親切は自分や相手の心を温かくする素敵なことだということを考え、身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする心情を育む。

教材 「はしのうえのおおかみ」 (出典) 「みんなのどうとく①」 Gakken

展開

	○学習活動 「主な発問」 ・ 予想される児童の発言	◇指導上の留意点 ☆評価
導入	○本時の学習の見通しをもつ。 「まわりの人に優しくしたことはありますか。」 ・ けがしている子に声をかけた。 ・ 友達を手伝った。	◇本時の方向性をつかむため、児童の生活体験を想起する。
展開前段	○教材「はしのうえのおおかみ」を聞き、親切は自分や相手の心を温かくする素敵なことだということを考える。 「おおかみは、うさぎを追い返してどんな気持ちで『えへん、へん。』と言ったのだろう。」 ・ えっへん。おれはえらいぞ。 ・ 弱いやつはもどれ、もどれ。 ・ 王様になった気分でおもしろいな。 「くまの後ろ姿を見て、おおかみは何を考えたのだろう。」 ・ 優しくしてもらった。うれしい。 ・ 誰にでも優しくできるほうが、かっこいいかも。 ・ 真似したいな。 「うさぎを通してあげて『えへん、へん』と言ったおおかみは、どんな気持ちだっただろう。」 ・ ぼくもおおかみみたいに優しくできた。 ・ ぼくを真似したくなる動物はいるかな。 ・ こっちの方がずっと気持ちがいい。	◇教材提示後、どのようなおおかみだったかを問い、いじわるから優しいおおかみへ変化したことを確認する。 ◇おおかみの気持ちを考えやすくするため、「えへん、へん」のセリフを動作化して考える。 ◇いじわるなおおかみから、優しいおおかみに変わったきっかけを問い、くまの言動に注目をする。 ◇力の弱い相手にも優しいことや、お互い渡れて誰も嫌な思いをしないことなど、くまの優しさを整理しながら板書をする。 ◇はじめの「えへん、へん」と比べて違いを考える。 ☆親切は自分や相手の心を温かくする素敵なことだということを考えている。
展開後段	○自分の生活とつなげて考える。 「まわりの人に優しくして、気持ちが温かくなったことはありますか。」 ・ 困っていた友達を手伝って「ありがとう」と言われてうれしくなった。 ・ 手伝ったら、喜んでくれて、うれしくなった。	◇導入で考えたことに注目をする。自分たちの生活と、本時で話し合ってきたことが繋げていく。
終末	○本時を振り返る。 「今日の授業で、よりよく生活を送るために自分に生かせることを考えましょう。」 ・ 優しくすると友達とも仲良くなれるから、優しくできたらいいな。 ・ 王様みたいに威張るのではなく、優しくしたほうがみんなで楽しくできるから、気持ちよく生活できると思った。	◇「行為」に対する意見が出た際は、「それをする、と、どんなよいことがあるのか。」と問い、行為を促す心情に注目できるようにする。 ☆身近にいる人に温かい心で接し、親切にしていこうとすることのよさを考えている。

第1学年 道徳科学習指導案

令和6年6月28日（土）第3校時
第1学年2組 25名
授業者 小川 鈴奈

主題名 しんせつに すると きもちがいい 内容項目（親切 思いやり）
ねらい 親切にしたときの気持ちよさを知り、だれに対しても思いやりの心を持って接しようとする
心情を育てる。

教材 「はしの 上の おおかみ」（出典）「みんなのどうとく①」Gakken
展開

	○学習活動「」主な発問・予想される児童の発言	◇指導上の留意点 ☆評価
導入	○優しくされた経験とそのときの気持ちを出し合う 「これまでに優しくしてもらったことはありますか。それはどんなことでどんな気持ちでしたか？」 だれにでもやさしくすることについてかんがえよう。	◇児童には「親切にしてもらったこと」を「優しい」という言葉として発問し捉えやすくする。（親切にする＝優しく接するという捉え方）
展開前段	○教材「はしのうえのおおかみ」を聞いて、親切にすることのよさについて考える。 ○「えへん、へん」と威張りながらうさぎを追い返した時のおおかみの気持ちを考える。 「うさぎを追い返した時のおおかみはどんな気持ちだったでしょう？」 ・みんなが自分の言うことを聞くから楽しい。 ・自分の思い通りになるのがうれしい。 ○くまくに抱きかかえられてそっとおろしてもらった時のおおかみの気持ちを考える。 「くまくにそっとおろしてもらった時のおおかみの気持ちを考えよう。」 ・なんだかうれしい。 ・優しくするっていいことだ。 ○「えへん、へん」とうさぎをそっとおろしてあげた時の気持ちを考える。 「うさぎを抱きかかえてそっとおろしてあげた時のおおかみはどんな気持ちだったのでしょうか？」 ・くまさんのように優しくできてよかった。 ・いい気持ちになった。	◇おおかみがくまさんに親切にもらったことを通してどのように気持ちに変化したかに注目させる。 ◇このときのおおかみの気持ちを考えるために、「えへん、へん」につづく言葉を考える。 ◇いじわるなおおかみから、優しいおおかみに変わったきっかけを問う。くまの言動に注目して考えさせる。 ◇はじめの「えへん、へん」と比べて違いを考える。 ◇話の流れとおおかみの気持ちの変化をおさえながら、児童の発言や気づきがわかるように、板書を行う。
展開後段	○実際の自分の生活とつなげて考える。 「まわりの人に優しくして、気持ちが温かくなったことはありますか。」 ・困っていた友達を手伝って「ありがとう」と言われてうれしくなった。 ・相手が喜んでくれて、うれしくなった。 ・親切にしてもらってもうれしい。	◇導入で考えたことに注目をする。自分たちの生活と、前段で話したことをつなげる。 ☆親切にすることについて、自分自身とのかかわりで考えている。（発言）
終末	○教師の説話を聞く。 親切にすることについての教師の経験を話す。	◇相手に親切にしたことで、気持ちよく過ごせた教師の出来事を伝える。1年2組の様子に触れながら話す。

第1学年 道徳科学習指導案

令和7年6月28日(土) 第1校時

第1学年3組 27名

授業者 佐藤 匠

主題名 しんせつにすると気持ちがいい 内容項目 (親切、思いやり)

ねらい 親切にしたときの気持ちよさを知り、誰に対しても思いやりの心をもって接しようとする
心情を育てる。

教材 「はしの上のおおかみ」 (出典) 「みんなのどうとく①」 Gakken

展開

	○学習活動 「主な発問」 ・予想される児童の発言	◇指導上の留意点 ☆評価
導入	○これまでの経験を想起する。 ○本時の学習課題を把握する。 「親切にするとどんないいことがあるかな。」	◇身近な学校生活の中で友達に優しくされた、したことを思い出し、 、ねらいとする道徳的価値への方向付けを図る。
展開前段	○「はしの上のおおかみ」を読んで、おおかみの気持ちの変化を考える。 ①うさぎを追い返して「えへん、へん。」といったおおかみの気持ちを考える。(役割演技) ・おもしろい ・いばっていいきぶん ②くまに親切にしてもらった時のおおかみの気持ちを考える。(役割演技) ・うれしい ・びっくり ③うさぎを渡してあげた後の「えへん、へん。」と言ったおおかみの気持ちを考える。(役割演技) ・いいきもち ・ありがとう ④2つの「えへん、へん。」は同じ気持ちか考える。 「どちらの「えへん、へん。」も本当に同じ気持ちなのかな。」	◇おおかみの気持ちを想像しやすくするために役割演技を行う。 ◇役割演技をした児童に気持ちを聞いたり、様子を見ていた児童のつぶやきを拾ったりしておおかみの気持ちを取り上げる。 ◇いじわるを楽しんでいるおおかみの気持ちに気付くよう、場面絵を掲示する。
展開後段	○本時を振り返り、親切にするとどんないいことがあるか考える。 ・自分も相手もうれしくなる。 ・親切は広がっていく。 ○振り返りを発表する。	◇親切にすると自分も相手もいい気持ちになることを押さえる。 ☆親切にすることのよさを感じることができる。
終末	○今までクラスの友達にしてもらった親切を思い出し、ありがとうの気持ちを手紙に書く。	◇具体的にどんな親切をされての感謝なのか書きやすいように、例を提示する。

第2学年 道徳科学習指導案

令和7年6月28日(土) 第2校時

第2学年1組 28名

授業者 行田 さゆり

主題名 あいさつの力

内容項目 (礼儀)

ねらい 相手の気持ちを想像したり、自分なりの気持ちを込めて挨拶をしたりしようとする心情を育てる。

教材「青いアルバム」 (出典)「みんなのどうとく②」 Gakken

展開

	○学習活動 「主な発問」 ・予想される児童の発言	◇指導上の留意点 ☆評価
導入	○内容項目について考える。 「今日、あいさつをしましたか？だれに？なぜ？」 ・相手も自分も気持ちよく一日を始めるため。 ・しないといけないことだから。 ・知らない人には言わない。 ・なぜ言っているか考えたことはなかったな。	◇あいさつの意味を振り返ることで教材への興味や関心を高めさせる。
展開前段	○教材を読んで考え、話し合う。 「「わたし」は、6年生たちに挨拶できないときどんな気持ちでしょうか。」 ・返してくれなかったら恥ずかしい。 ・声が相手に聞こえないかも… ・朝は元気が出なくて返す気持ちになれない。 ・知らない6年生ばかりだな。 「ほかにもたくさんのお店がある中で外国人の友達や家族もえいちゃんのお店に来るのはなぜでしょう。」 ・えいちゃんは誰にでもやさしいから。 ・言葉が通じなくてもやさしい心が伝わるから。 「えいちゃんの話から「わたし」はどんなことに気付いたでしょうか。」 ・挨拶には力がある。 ・自分も勇気を出して6年生に挨拶してみよう。	◇外国人のお客さんにスポットを当て教材文には描かれていない気持ちを想像させる。 ☆あいさつのもつ力について考えを深めていたか。(発言)
展開後段	○挨拶について改めて考える。 「挨拶をして「よかった」と思ったのはどんなことですか。」 ・近所の人に「おはよう」と言ったら返してくれて元気が出た。 ・毎日「おはよう」「さようなら」と言と気持ちがよい。	◇挨拶の短い言葉の中に、実はいろいろな思いが込められているという学びを、自分たちの生活に置き換えて考えさせる。 ☆「おはよう。」の一言に込められた思いを想像したり、挨拶を交わした時の喜びを思い返したりして考えを共有したか。(ワークシート)
終末	○あいさつについて教師の説話を聞く。	◇本校のあいさつ隊の活動に触れ、活動している子の思いを紹介し、挨拶への意欲付けを行う。

第2学年 道徳科学習指導案

令和7年6月28日(土) 第2校時
第2学年2組 28名
授業者 水野 沙梨衣

主題名 あいさつの力 内容項目 (礼儀)
ねらい 相手の気持ちを想像したり、自分なりの気持ちを込めて挨拶をしたりしようとする心情を育てる。

教材「青いアルバム」 (出典) 「みんなのどうとく②」 Gakken
展開

	○学習活動 「主な発問」 ・予想される児童の発言	◇指導上の留意点 ☆評価
導入	○本時の学習の見通しをもつ。 「朝、教室に入って一番にすることは何ですか。」 ・あさのじゅんび ・あいさつ 「みなさんはなぜあいさつをしますか。」 ・しないといけないことだから。 ・あいさつすると元気になるから	◇あいさつの意味を振り返ることで教材への興味や関心を高めさせる。
展開前段	○教材「青いアルバム」の聞き、挨拶は、会話がなくても自分と相手の心をつなぐことができるということを考える。 「『わたし』は、6年生達に挨拶できないときどんなきもちでしょうか。」 ・返してくれなかったら恥ずかしい。 ・声が相手に聞こえないかも… ・朝は元気が出なくて返す気持ちになれない。 「ほかにもたくさんのお店がある中で外国人の友達や家族もえいちゃんのお店に来るのはなぜでしょう。」 ・えいちゃんは誰にでもやさしいから。 ・言葉が通じなくてもやさしい心が伝わるから。 「えいちゃんの話から『わたし』はどんなことに気付いたのでしょうか。」 ・挨拶には力があ。 ・自分も勇気を出して6年生に挨拶してみよう。	◇外国人のお客さんにスポットを当て教材文には描かれていない気持ちを想像させる。 ☆あいさつのもつ力について考えを深めていたか。(発言)
展開後段	○自分の生活と重ねて考える。 「挨拶をして『よかった』と思ったのはどんなことですか。」 ・近所の人に「おはよう」と言ったら、笑顔で返してくれたのが嬉しかった。 ・少しでも話せて嬉しい。	◇挨拶の短い言葉の中に、実はいろいろな思いが込められているという学びを、自分たちの生活に置き換えて考えさせる。 ☆「おはよう。」の一言に込められた思いを想像したり、挨拶を交わした時の喜びを思い返したりして考えを共有したか。(ワークシート)
終末	○2年2組のあいさつについて教師の説話を聞く。	◇朝の時間に担任以外にも挨拶を進んでできる姿を評価し、挨拶への意欲付けを行う。

第2学年 道徳科学習指導案

令和7年6月28日(土) 第2校時
第2学年3組 28名
授業者 大場 真弥

主題名 あいさつの力 内容項目 (礼儀)
ねらい 相手の気持ちを想像したり、自分なりの気持ちを込めて挨拶をしたりしようとする心情を育てる。

教材「青いアルバム」 (出典)「みんなのどうとく②」 Gakken
展開

	○学習活動 「主な発問」 ・予想される児童の発言	◇指導上の留意点 ☆評価
導入	○本時の学習の見通しを持つ。 「みなさんはなぜあいさつをしますか。」 ・相手も自分も気持ちよく一日を始めるため。 ・しないといけないことだから。	◇あいさつの意味を振り返ることで教材への興味や関心を高めさせる。
展開前段	○教材を読んで、考え話し合っていく。 「『わたし』は、6年生達に挨拶できないときどんなきもちでしょうか。」 ・返してくれなかったら恥ずかしい。 ・声が相手に聞こえないかも… ・朝は元気が出なくて返す気持ちになれない。 「ほかにもたくさんのお店がある中で外国人の友達や家族もえいちゃんのお店に来るのはなぜでしょう。」 ・えいちゃんは誰にでもやさしいから。 ・言葉が通じなくてもやさしい心が伝わるから。 「えいちゃんの話から「わたし」はどんなことに気付いたでしょうか。」 ・挨拶には力がある。 ・自分も勇気を出して6年生に挨拶してみよう。	◇外国人のお客さんにスポットを当て教材文には描かれていない気持ちを想像させる。 ☆あいさつのもつ力について考えを深めていたか。(発言)
展開後段	「挨拶をして「よかった」と思ったのはどんなことですか。」 ・近所の人に「おはよう」と言ったら返してくれて元気が出た。 ・門衛さんに毎日「おはよう」「さようなら」と言うのが気持ちがよい。	◇挨拶の短い言葉の中に、実はいろいろな思いが込められているという学びを、自分たちの生活に置き換えて考えさせる。 ☆「おはよう。」の一言に込められた思いを想像したり、挨拶を交わした時の喜びを思い返したりして考えを共有したか。(ワークシート)
終末	○2年3組のあいさつについて教師の説話を聞く。	◇朝の時間に担任以外にも挨拶を進んでできる姿を評価し、挨拶への意欲付けを行う。

第3学年 道徳科学習指導案

令和7年6月28日(土) 第1校時

第3学年1組 27名

授業者 長森 陽介

主題名 真心をとどける 内容項目(親切、思いやり)

ねらい 自分だけの思いから発した親切と、相手の立場で考えた親切の違いに気づき、相手への真心のこもった親切をしようとする心情を育てる。

教材「フローレンス・ナイチンゲール物語」 (出典)「みんなの道徳3」Gakken

展開

	○学習活動 「主な発問」 ・予想される児童の発言	◇指導上の留意点 ☆評価
導入	○日常生活を想起し、主題に関して考える。 「誰かに親切にしたことはありますか。それは、どんなときですか。」 ・友達に鉛筆を貸してあげた。 ・友達の消しゴム 「どのようにすることが親切なのだろうか。」 ・相手にやさしくする。 ・助ける。	◇ねらいとする道徳的価値へのもんだ意識をもたせる。
展開前段	○学習のテーマを知る。 どのようなことが親切にすることなのだろうか。 ○教材を読み、テーマについて考える。 「キースさんに断られたとき、フローレンスはどんなことを考えたのだろうか。」 ・せっかく準備したのにどうして怒られたのだろう。 ・みんなは喜んでくれたのにどうして断るのだろう。 「キースさんが喜んでくれたのはどうしてだろうか。」 ・服や物以外のものを考えてくれたから。 ・自分の気持ちを考えてやってくれたことだから。	◇フローレンスに共感し、「人の役に立つ働き」について考え、話し合わせる。価値理解を深めるために「キースさんのために働きたくない気持ち」「キースさんを心配する気持ち」、「キースさんのために何ができるか考える気持ち」、に分けて板書し、「キースさんのために何ができるか考える気持ち」に焦点を当てて話し合いを深めるようにする。
展開後段	○今までの自分の行動とそのときの気持ちを振り返る。 「今までに自分がしたことによって相手が喜んでくれたことはありますか。どんなことですか。」 ・友達が一人でするときに一緒に遊ぼうと声をかけたら喜んでくれた。 ・病気の友達をお見舞いに行ったら、喜んでくれた。	☆相手の立場や気持ちをよく考え、真心のこもった親切について考えを深めていたか。(発言、ワークシート)
終末	○テーマ「どのようなことが親切にすることなのだろうか。」について考えたことを話し合う。	

第3学年 道徳科学習指導案

令和7年6月28日(土) 第2校時

第3学年2組 26名

授業者 増田 美奈子

主題名 真心をとどける 内容項目(親切、思いやり)

ねらい 自分だけの思いから発した親切と、相手の立場で考えた親切の違いに気づき、相手への真心のこもった親切をしようとする心情を育てる。

教材「フローレンス・ナイチンゲール物語」 (出典)「みんなの道徳3」 Gakken

展開

	○学習活動 「主な発問」 ・予想される児童の発言	◇指導上の留意点 ☆評価
導入	○本時のねらいとする道徳的価値について問題意識をもつ。 「今までどんな親切な行動をしてきましたか。」 ・席をゆずる ・友達がけがをしたときに保健室に連れていく。	◇日常生活の場面を思い出させ、自分の親切な行動は、相手の立場で考えた場合も親切であるかを考え、価値への方向付けを図る。
展開前段	どのようなことが親切にすることか考えよう。 ○教材を読んで「親切」について話し合う。 ・ほかの人と同じようにパンをあげようとしたら断られた。 ・歌ったら喜んでくれた。 ○フローレンスはどのようなことを考えたのだろうか。 ・どうしたらキースさんが喜んでくれるか ・みんなは喜んでくれるのに、なんで断られたのだろう。 ○キースさんが喜んでくれて、フローレンスはどう思いましたか。 ・喜んでもらえたら自分もうれしい。 ・自分がやって気持ちがよいだけでなく、相手もうれしい気持ちになる。	◇教師の範読後、フローレンスの気持ちを考えながら黙読する。読み終えたら教材をしまう。 ◇フローレンスは相手のことを考えた行動をしたことをおさえる。 ◇相手を思った行動をすることが「親切」だということをおさえる。
展開後段	○これまでの自分の生活を振り返り、相手が何をしてほしいかを考えて、親切したことはあるか、考える。 。「相手のためを思って親切にしたことがありますか」 ・	☆これまでの自己の生き方を振り返って、親切についての考えを深めている。(発言、ワークシート)
終末	○教師の説話をきく。	

第3学年 道德科学習指導案

令和7年6月28日(土) 第2校時

第3学年3組 27名

授業者 高田 ありさ

主題名 真心をとどける 内容項目 (親切、思いやり)

ねらい 自分だけの思いから発した親切と、相手の立場で考えた親切の違いに気づき、相手への真心のこもった親切をしようとする心情を育てる。

教材「フローレンス・ナイチンゲール物語」 (出典) 「みんなの道徳3」 Gakken

展開

	○学習活動 「主な発問」 ・予想される児童の発言	◇指導上の留意点 ☆評価
導入	○本時のねらいとする道徳的価値について問題意識をもつ。 「親切な行動には、どのような行動がありますか。」 ・電車で席をゆずる。 ・困っている友達に声を掛ける。	◇日常生活の場面を思い出させ、自分の親切な行動は、相手の立場で考えた場合も親切であるかを考え、価値への方向付けを図る。
展開前段	優しさを広げるために大切なことを考えよう。 ○病気になったときにしてほしいことを考える。 ・寝たい。 ・優しい言葉を掛けてほしい。 ○「フローレンス」さんの行動を中心に考え、教材を読む。 「キースさんに断られたとき、フローレンスはどんな気持ちだったでしょう。」 ・なんで断られたのだろう。 ・みんなは喜んでくれるのに。 ・せっかく準備したのに。 「キースさんが「また来てくれるかい。」と笑顔になったのはなぜでしょう。」 ・歌が心に響いたから。 ・一度来るのを断ったのに、また来てくれたから。	◇人それぞれ意見が違うことに気付かせる。 ◇自分自身で考え、発表することを中心にして、フローレンスの気持ちを想像させる。 ◇キースさんに歌を歌ったフローレンスの気持ちを考えさせる。
	○これまでの自分の生活を振り返り、相手によろこんでもらえてよかったことを考える。 「今まで相手のために思った行動をしたことがありますか。」 ・電車で席を譲る。 ・けがをした友達がいたら、一緒に保健室に行く。	☆これまでの自己の生き方を振り返ったり、今後の行動について考えたりして、優しさを広げる意欲を高めている。（発言、ワークシート）
終末	○フローレンス・ナイチンゲールの功績を紹介する。	

第4学年 道徳科学習指導案

令和7年6月28日(土) 第2校時
第4学年1組 33名
授業者 石原 淳佑

主題名 よりそう心 内容項目(親切 思いやり)

ねらい 相手の気持ちを思いやり、自分にできることは何かを考えて、進んで親切な行いをしようとする意欲を高める。

教材「心の信号機」 (出典)「みんなの道徳4」 Gakken

展開

	○学習活動 「主な発問」 ・予想される児童の発言	◇指導上の留意点 ☆評価
導入	○本時のねらいとする道徳的価値について問題意識をもつ。 「今までどんな人に親切な行動をしてきましたか。」 ・クラスの友達や家族 ・知り合いや関わりのある人が多いな。	◇日常生活の場面を思い出させ、自分が親切にする相手は、親しい人が多いことに気付かせ、価値への方向付けを図る。
展開前段	思いやりのある行動を周りの人に広げるためには、どんなことが大切なのか考えよう。 ○教材を読み、『ぼく』の気持ちの変化を中心に話し合う。 「男の人に声をかけられずにいる『ぼく』はどんなことを思っていたのでしょうか。」 ・助きたい気持ちがあるけれど、知らない人には声を掛けにくいな。 ・知らない人だから、声を掛けられなくてもしょうがないな。 ・声を掛けたいけど、どうしたらいいかな。 「『ぼく』が思い切って声を掛けることができたのはなぜでしょうか。」 ・このままでは男の人が心配だから。 ・助けられるのは自分だけだと思ったから。	◇「どうして、『ぼく』は足がゆっくりになってしまったのだろう。」と補助発問をすることで『ぼく』の心が葛藤することに気付かせる。 ◇声を掛けた後『ぼく』の気持ちの変化に気付かせる。
展開後段	○これまでの自分の生活を振り返り、これからの自分の生き方について考える。 「今日の学習を通して、親切とはどういうことだと思いますか。」 ・困っている人を助けること。 「親切の輪を広げるために、大切なことを考えましょう。」 ・相手のことを考えて動くことが大切だと思う。 ・緊張しても行動できるようにしたい。 ・周りの状況や自分ができていることをよく考えて行動することが大切だ。	☆これまでの自己の生き方を振り返り、相手の気持ちを考えたり、自分のできることをやろうとしたりする意欲を高めている。(発言、ワークシート)
終末	○教師の説話を聞く。	

第4学年 道徳科学習指導案

令和7年6月28日(土) 第2校時
第4学年2組 33名
授業者 岡本 優

主題名 よりそう心 内容項目(親切 思いやり)

ねらい 相手の気持ちを思いやり、自分にできることは何かを考えて、進んで親切な行いをしようとする意欲を高める。

教材「心の信号機」 (出典)「みんなの道徳4」 Gakken

展開

	○学習活動 「主な発問」 ・予想される児童の発言	◇指導上の留意点 ☆評価
導入	○本時のねらいとする道徳的価値について問題意識をもつ。 「今までどんな親切な行動をしてきましたか。」 ・クラスの友達に優しく接している。 ・知り合いや関わりのある人が多い。	◇日常生活の場面を思い出させ、自分が親切にする相手は、親しい人が多いことに気付かせ、価値への方向付けを図る。
展開前段	思いやりのある行動を周りの人に広げるためには、どんなことが大切なのか考えよう。 ○教材を読み、『ぼく』の気持ちの変化を中心に話し合う。 「信号機の柱をつかんだ男の人が心細そうに見えたのはなぜでしょう。」 ・目が不自由な人みたいだから。 ・三度も信号が変わったのに、そのまま立っていたから。 「『ぼく』が思い切って声を掛けることができたのはなぜでしょうか。」 ・このままでは男の人が心配だから。 ・助けられるのは自分だけだと思ったから。 ・悩んでいる場合じゃないと思ったから。	◇「どうして、『ぼく』は足がゆっくりになってしまったのだろう。」と補助発問をすることで『ぼく』の心が葛藤することに気付かせる。 ◇声を掛けた後『ぼく』の気持ちの変化に気付かせる。
展開後段	○これまでの自分の生活を振り返り、これからの自分の生き方について考える。 「親切とは、どういうことだと思いますか。」 ・困っている人を助けること。 「親切の輪を広げるために、大切なことを考えましょう。」 ・勇気を出して、行動できるようにしたい。 ・周りの状況や自分ができていることをよく考えて行動することが大切だと思う。 ・自分から進んで親切にすることが大切だと思う。	☆これまでの自己の生き方を振り返り、相手の気持ちを考えたり、自分のできていることをやろうとしたりする意欲を高めている。(発言、ワークシート)
終末	○教師の説話を聞く。	

第4学年 道徳科学習指導案

令和7年6月28日(土) 第2校時

第4学年3組 33名

授業者 大槻 二深

主題名 よりそう心 内容項目(親切 思いやり)

ねらい 相手の気持ちを思いやり、自分にできることは何かを考えて、進んで親切な行いをしようとする意欲を高める。

教材「心の信号機」 (出典)「みんなの道徳4」 Gakken

展開

	○学習活動 「主な発問」 ・予想される児童の発言	◇指導上の留意点 ☆評価
導入	○本時のねらいとする道徳的価値について問題意識をもつ。 「今までどんな人に親切な行動をしてきましたか。」 ・クラスの友達や家族 ・知り合いや関わりのある人が多いな。	◇日常生活の場面を思い出させ、自分が親切にする相手は、親しい人が多いことに気付かせ、価値への方向付けを図る。
展開前段	思いやりのある行動を周りの人に広げるためには、どんなことが大切なのか考えよう。 ○教材を読み、『ぼく』の気持ちの変化を中心に話し合う。 「男の人に声をかけられずにいる『ぼく』はどんなことを思っていたのでしょうか。」 ・助けたい気持ちがあるけれど、知らない人には声を掛けにくいな。 ・知らない人だから、声を掛けられなくてもしょうがないな。 ・声を掛けたいけど、どうしたらいいかな。 「『ぼく』が思い切って声を掛けることができたのはなぜでしょうか。」 ・このままでは男の人が心配だから。 ・あとで後悔をしたくないから。	◇「どうして、『ぼく』は足がゆっくりになってしまったのだろう。」と補助発問をすることで『ぼく』の心が葛藤することに気付かせる。 ◇声を掛けた後『ぼく』の気持ちの変化に気付かせる。
展開後段	○これまでの自分の生活とつなげて考える。 「人から親切にしてもらったことはありますか。また、どんな気持ちになりましたか。」 ・困っているときに声をかけてもらっただけで、安心した。	
終末	○本時をふり返る。 「親切の輪を広げるために、大切なことを考えましょう。」 ・相手のことを考えて動くことが大切だと思う。 ・緊張しても行動できるようにしたい。 ・周りの状況や自分ができていることをよく考えて行動することが大切だ。	☆これまでの自己の生き方を振り返り、相手の気持ちを考えたり、自分のできることをやろうとしたりする意欲を高めている。(発言、ワークシート)

第5学年 道徳科学習指導案

令和7年6月28日(土) 第1校時

第5学年1組 26名

授業者 山口 哲郎

主題名 相手の立場に立って 内容項目(親切、思いやり)

ねらい 相手の立場に立ち、誰に対してもあたたかい心で親切にしようとする心情を育てる。

教材「くずれ落ちたダンボール箱」 (出典)「みんなの道徳5」Gakken

展開

	○学習活動 「主な発問」 ・予想される児童の発言	◇指導上の留意点 ☆評価
導入	○人に親切にしたときのことについて思い出し共有する。 ・分からなくて困ってる友達に教えてあげた。 ・落ちていたものを拾ってあげた。	◇どんなときに人に親切をしたか、どんな気持ちだったかを確認し、本時の価値への導入を行う。
展開前段	○教材を読んで考え、話し合う。 「『ねえ、手伝ってあげようか。』と言った明日香はどんなことを考えていたのでしょうか。」 ・おばあさん大変そうだな。 ・男の子いってしまったの大丈夫かな。心配。 「店員に怒られてしまったときから、おばあさんにお礼を言われたときの気持ちの変化について考えましょう。」 ・自分たちは手伝っていたのに。ひどい。 ・私たちのせいにされた。どうして怒られるの。 ↓ ・納得いってなかったけれど、おばあさんの役に立ててよかった。 ・男の子が無事でよかった。 ・自分たちは悪くないのに叱られたのがもやもやする。 「校長先生の話聞き、あすかはどんな気持ちになったでしょう。」 ・店員にも分かってもらえてよかった。 ・そんな風に言ってもらえて嬉しい。 ・やったことは間違えていなかった。よかった。	◇児童と教科書を見ながら、教材提示を行う。 ◇困っているおばあさんの立場になって考えている私の気持ちに共感する。 ◇店員さんに誤解されて、叱られてしまった私のもやもやした気持ちに共感させながら、最後まで段ボール箱を片付ける様子を捉えさせる。 ◇怒りの気持ちと、おばあさんを思う優しさの気持ちをもつ私や様々な登場人物の行動を、多面的・多角的に見られるようにさせる。 ◇手紙が来なくても、(誤解されていても)明日香たちのしたことは素晴らしい行動であることを捉えさせる。
展開後段	○自己を見つめ、自己の生き方についての考えを深める。 「改めて自分にとっての親切とは何か考えてみましょう」 ・困っている人のことを考えて、行動する。 「親切にすることで、大切なことはどんなことなのでしょう。」 ・だれにでも親切にできるようにする。 ・自分からできるようにしたい。	☆相手の気持ちや立場を考え、誰に対しても温かく接することについて自己を見つめて考えを深めていたか。 (スクールタクト・発言)
終末	○親切に関する教師の話聞く。	

第5学年 道徳科学習指導案

令和7年6月28日(土) 第1校時
第5学年2組 26名
授業者 山本 梨華

主題名 相手の立場に立って 内容項目(親切、思いやり)
ねらい 相手の立場に立ち、誰に対しても思いやりの心を持って接していこうとする心情を育てる。

教材「くずれ落ちたダンボール箱」 (出典)「みんなの道徳5」 Gakken
展開

	○学習活動 「主な発問」 ・予想される児童の発言	◇指導上の留意点 ☆評価
導入	○課題意識をもつ。 「親切とは何だと思いますか。」 ・人に優しくすること。	◇親切とはなにかを確認し、本時の価値への導入を行う。
展開前段	○教材を読んで考え、話し合う。 「手伝った明日香はどんなことを考えていたのでしょうか。」 ・役に立ってよかったな。 ・男の子は迷子になっていないかな。心配。 「店員さんに叱られた明日香はどんな気持ちになったでしょう。」 【誤解されて叱られた不満】 ・叱られて嫌な気持ちになった。 「おばあさんにお礼を言われたとき、明日香はどんな気持ちになったでしょう。」 【親切にし、人のためになった喜び】 ・おばあさんの役に立ててよかった。 「校長先生の話聞き、あすかはどんな気持ちになったでしょう。」 ・困っている人を助けてよかった。 ・店員さんも分かってくれてよかった。 「今日の学習を通して、親切とはどういうことだと思いますか。」 ・お礼を言われなくても、人のために何かをしようとする事。 ・誰も見ていなくても優しくすること。 ・周りの人も温かい気持ちになること。	◇場面ごとに教材提示を行う。 ◇困っているおばあさんの立場になって考えている私の気持ちに共感する。 ◇親切な行為が否定されてやるせない気持ちに共感しながらも、認めてもらえないとやったことが無駄になるという心の弱さに気付かせる。 ◇叱られてしまった嫌な気持ちと、おばあさんを思う優しさの気持ちをもつ私の行動を、多面的・多角的に見られるようにさせる。 ◇校長先生が朝会で話したわけを問い、周りの人も温かい気持ちになったことに気付かせる。 ☆お礼を言われなくても、相手の気持ちや立場を考え、誰に対しても温かく接することの大切さに気付くことができたか。 (スクールタクト・発言)
展開後段	○今までの自分を振り返る。 「今日の学習やこれまでの生活を振り返って、考えたことを書きましょう。」	☆これまでの自分を振り返り、親切について再考しているか。 (スクールタクト)
終末	○親切に関する教師の説話を聞く。	

第5学年 道徳科学習指導案

令和7年6月28日(土) 第1校時

第5学年3組 26名

授業者 新妻 光里

主題名 相手の立場に立って 内容項目 (親切、思いやり)

ねらい 相手の立場に立ち、誰に対してもあたたかい心で親切にしようとする心情を育てる。

教材 「くずれ落ちたダンボール箱」 (出典) 「みんなの道徳5」 Gakken

展開

	○学習活動 「主な発問」 ・予想される児童の発言	◇指導上の留意点 ☆評価
導入	○人に親切にしたときのことについて思い出し共有する。 ・分からなくて困ってる友達に教えてあげた。 ・落ちていたものを拾ってあげた。	◇どんなときに人に親切をしたか、 どんな気持ちだったかを確認し、 本時の価値への導入を行う。
展開前段	○教材を読んで考え、話し合う。 「『ねえ、手伝ってあげようか。』と言った明日香はどんなことを考えていたのでしょうか。」 ・おばあさん大変そうだな。 ・男の子いってしまったの大丈夫かな。心配。 「店員に怒られてしまったときから、おばあさんにお礼を言われたときの気持ちの変化について考えましょう。」 ・自分たちは手伝っていたのに。ひどい。 ・私たちのせいにされた。どうして怒られるの。 ↓ ・納得いってなかったけれど、おばあさんの役に立ててよかった。 ・男の子が無事でよかった。 ・自分たちは悪くないのに叱られたのがもやもやする。 「校長先生の話聞き、あすかはどんな気持ちになったでしょう。」 ・店員にも分かってもらえてよかった。 ・そんな風に言ってもらえて嬉しい。 ・やったことは間違えていなかった。よかった。	◇児童と教科書を見ながら、教材提示を行う。 ◇困っているおばあさんの立場になって考えている私の気持ちに共感する。 ◇店員さんに誤解されて、叱られてしまった私のもやもやした気持ちに共感させながら、最後まで段ボール箱を片付ける様子を捉えさせる。 ◇怒りの気持ちと、おばあさんを思う優しさの気持ちをもつ私の行動を、多面的・多角的に見られるようにさせる。 ◇手紙が来なくても、(誤解されていても) 明日香たちのしたことは素晴らしい行動であることを捉えさせる。
展開後段	○自己を見つめ、自己の生き方についての考えを深める。 「親切にすることで、大切なことはどんなことなのでしょう。」 ・困っている人の気持ちになる。 ・だれにでも親切にできるようにする。 ・自分からできるようにしたい。	☆人に認められなくても、相手の気持ちや立場を考え、誰に対しても温かく接することについて自己を見つめて考えを深めていたか。 (スクールタクト・発言)
終末	○親切に関する教師の話聞く。	

第6学年 道徳科学習指導案

令和7年6月28日(土) 第2校時
第6学年1組 31名
授業者 吉本 美穂

主題名 その人のために 内容項目 親切、思いやり
ねらい 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすることについて考えを深める。

教材 「最後のおくりもの」 (出典) 「みんなの道徳 6」 Gakken
展開

	○学習活動 「主な発問」 ・予想される児童の発言	◇指導上の留意点 ☆評価
導入	○これまでの経験を振り返る。 「これまで人のために何かしたことやされたことはありますか。」 ・分からないときに教えてもらった。 ・家族が病気のときに、ご飯を作った。	◇「親切」についての考えを引き出し、本時の学習への課題意識をもたせる。
展開前段	○「最後のおくりもの」を読んで考え、話し合う。 ①「ロベータに贈り物を送ったときのジョルジェじいさんはどんなことを思っていたでしょう。」 ・夢をかなえてほしい。 ・一生懸命なロベータのために何かしてあげたい。 ②「贈り物が届かなくなってロベータはどんなことを思ったでしょう。」 ・養成所にいけなくなる。 ・なぜ急に届かなくなった。 ③「『息子です。』と言ったロベータはどんなことを思っていたでしょう。」 ・こんなにも自分のことを思ってくれているなんて。 ・ジョルジェじいさんのためにも頑張らないと。 ④「ジョルジェじいさんのすごいところはどこだと考えますか。」 ・夢を応援しようという優しい思い。 ・人のために何かをすることのすばらしさ。 ・自分のことよりロベータのことを考える思いやりの心。	◇名乗っていないことや体調がよくないのに働いて贈り物を送ったときの気持ちを考えることを通して、自分のことよりも相手のことを思って行動していることに気付かせる。 ◇二人の気持ちを比べることを通して、自分のことしか考えていないロベータに対し、ジョルジェじいさんがロベータを思いやる強い気持ちをもっていることに気付かせる。 ◇「息子です。」と嘘をついてでも付き添おうとしたロベータの気持ちを考えることを通して、ジョルジェじいさんの思いに何とか応えようとするロベータの変化に気付かせる。 ◇ジョルジェじいさんの相手のことを思って行動できるすばらしさに気付かせる。
展開後段	○自己の生き方についての考えを深める。 「人のために何かをするときに、どんなことが大切だと思いますか。」 ・相手の幸せを願って、相手のためにすること。 ・自分のことはおいてでも、相手のために全力をつくすこと。	☆誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすることの大切さについて考えを深めていたか。 (スクールタクトへの記入、発言)
終末	○教師の説話を聞く。	◇相手から、自分の立場に立って何かをしてもらった経験について話す。

第6学年 道徳科学習指導案

令和7年6月28日(土) 第2校時
第6学年2組 32名
授業者 柳 俊吾

主題名 本当の親切 内容項目 親切、思いやり
ねらい 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすることについて考えを深める。

教材「最後のおくりもの」 (出典)「みんなの道徳 6」 Gakken
展開

	○学習活動 「主な発問」 ・予想される児童の発言	◇指導上の留意点 ☆評価
導入	○「親切」について考える。 「親切とは、どういうことだと思いますか。」 ・相手のことを思うこと。 ・困っている人を助けること。 ・思いやりがあること。	◇「親切」についての考えを引き出し、授業の開始時と終了時の変化を比較できるようにする。「親切」の意味をより深く考えるという課題意識を持たせる。
展開前段	○「最後のおくりもの」を読んで考え、話し合う。 ① 「おくりものが届かなくなって、ロベータはどんなことを考えたでしょうか。」 ・なにがあったんだろう。 ・なぜ急に届かなくなったのだろう。 ・もう少しで認められそうなのに。 ② 「おくり物を続けたジョルジュじいさんはどんな思いで続けたのでしょうか。」 ・俳優になる夢を叶えてあげたい。 「ジョルジュじいさんの思いを知ったロベータの気持ちはどのようなもののでしょうか。」 ・僕のことをそんなに思っていてくれたなんて。 ③ 「ロベータにおくられた、「最後のおくりもの」とは何でしょうか。」 ・夢を応援しようという優しい思い。 ・人のために何かをすることのすばらしさ。 ・自分のことよりロベータのことを考える思いやりの心。	◇タイトル下のキーフレーズを読み、教材に興味・関心を持たせる。 ◇贈り物が届かなくなった時のロベータの気持ちを考えることを通して、相手の事情には思い及ばず自分のことしか考えていないロベータに気付かせる。 ◇自分のことしか考えていないロベータに対し、ロベータを思いやる強い気持ちを持っていることに気付かせる。 ◇ロベータがジョルジュじいさんから受け取った思いを考えさせる。 ◇ジョルジュじいさんの温かい思いやりに気づき、涙するロベータの気持ちを考えさせる。
展開後段	○自己を見つめ、自己の生き方についての考えを深める。 「『本当の親切』とは、どのようなことだと思いますか。」 ・自分のことばかり考えるのではなく、相手に思いやりの心をもって接すること。 ・相手の立場に立ち、相手のことを考えて行動すること。 ・相手の幸せを願って、相手のためにすること。	☆友達の考えをよく聞き、相手の立場に立つことの大切さについて考えを深めていたか。 (記述、発言)
終末	○教師の説話を聞く。	◇相手から、自分の立場に立って何かをしてもらった経験について話す。

第6学年 道徳科学習指導案

令和7年6月28日(土) 第2校時
第6学年3組 32名
授業者 菊池 光

主題名 本当の親切 内容項目 親切、思いやり
ねらい 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすることについて考えを深める。

教材「最後のおくりもの」 (出典)「みんなの道徳 6」 Gakken
展開

	○学習活動 「主な発問」 ・予想される児童の発言	◇指導上の留意点 ☆評価
導入	○「親切」について考える。 「親切とは、どういうことだと思いますか。」 ・人に優しくすること ・困っている人を助けること	◇「親切」についての考えを引き出し、授業の開始時と終了時の変化を比較できるようにする。「親切」の意味をより深く考えるという課題意識を持たせる。
展開前段	○「最後のおくりもの」を読んで考え、話し合う。 ① 「おくりものが届かなくなって、ロベータはどんなことを考えたでしょうか。」 ・これでは、月謝が払えない。 ・なぜ急に届かなくなったのだろう。 ② 「おくり物を続けたジョルジュじいさんはどんな思いで続けたのでしょうか。」 ・俳優になる夢を叶えてあげたい。 「ジョルジュじいさんの思いを知ったロベータの気持ちはどのようなものなのでしょうか。」 ・僕のことをそんなに思ってくれたなんて。 ③ 「ロベータにおくられた、「最後のおくりもの」とは何でしょうか。」 ・夢を応援しようという優しい思い。 ・人のために何かをすることのすばらしさ。 ・自分のことよりロベータのことを考える思いやりの心。	◇タイトル下のキーフレーズを読み、教材に興味・関心を持たせる。 ◇贈り物が届かなくなった時のロベータの気持ちを考えることを通して、相手の事情には思い及ばず自分のことしか考えていないロベータに気付かせる。 ◇自分のことしか考えていないロベータに対し、ロベータを思いやる強い気持ちを持っていることに気付かせる。 ◇ロベータがジョルジュじいさんから受け取った思いを考えさせる。 ◇ジョルジュじいさんの温かい思いやりに気づき、涙するロベータの気持ちを考えさせる。
展開後段	○自己を見つめ、自己の生き方についての考えを深める。 「『本当の親切』とは、どのようなことだと思いますか。」 ・自分のことばかり考えるのではなく、相手に思いやりの心をもって接すること。 ・相手の立場に立ち、相手のことを考えて行動すること。 ・相手の幸せを願って、相手のためにすること。	☆友達の考えをよく聞き、相手の立場に立つことの大切さについて考えを深めていたか。 (記述、発言)
終末	○教師の説話を聞く。	◇相手から、自分の立場に立って何かをしてもらった経験について話す。